

# 小学校5・6年生向け

## おすすめ本

思春期の入り口に立つ5・6年生。自分の意見を持ち、自分で考える力がつくこの年代には、より深いテーマの作品にふれて、本の世界を広げてほしいと思います。

くり返し読んでも、そのたびに新しい魅力を発見できる本を選びました。



『ビブリオバトルへようこそ!』  
濱野 京子／作  
(あかね書房)

あこがれの幸哉くんと同じ図書委員になった柚希。ビブリオバトルでチャンプ本を勝ち取り、幸哉くん注目してもらおうと大張り切り。バトルのため、いろいろな本を読んでいくうちに…。



『太郎の窓』  
中島 信子／著  
(汐文社)

お父さんはいつも「男らしくしろ」というけれど、太郎は男らしくなりたい。太郎という名前が大きい。ズボンよりも、スカートをはきたいのに…。心と体のちがいに苦しむ太郎の成長を描く。



『ヤーガの走る家』  
ソフィー・アンダーソン／作  
(小学館)

その家は死者をなぐさめ、星へかえすための場所。そこで門番になることを運命づけられた少女マリカは、自分の考えで行動したいと思うようになり…。ロシア民話をモチーフに、愛と命、少女の成長を描いたファンタジー。



タイトル	著者	出版社
アーサー王の世界 (シリーズ)	斉藤 洋／作	静山社
あしたのことば	森 絵都／作	小峰書店
あの日、ぼくは龍を見た	ながす みつき／作	PHP研究所
糸子の体重計	いとう みく／作	童心社
イワンの馬鹿	レフ・トルストイ／著	あすなろ書房
海へ出るつもりじゃなかった 上・下	アーサー・ランサム／作	岩波書店
きかせたがりやの魔女	岡田 淳／作	偕成社
銀河鉄道の夜	宮沢 賢治／作	岩波書店
くちぶえ番長	重松 清／著	新潮社
くらのかみ	小野 不由美／著	講談社
小さなバイキング ビッケ (シリーズ)	ルーネル・ヨンソン／作	評論社
天山の巫女ソニン (シリーズ)	菅野 雪虫／作	講談社
徳治郎とボク	花形 みつる／著	理論社
どろぼうのどろぼん	斉藤 倫／著	福音館書店
虹色ほたる	川口 雅幸／著	アルファポリス
落語ねこ	赤羽 じゅんこ／作	文溪堂
わたしの苦手なあの子	朝比奈 蓉子／作	ポプラ社